

2026.6-7

川崎市史市制100周年記念版
令和8年度ワークショップ報告書

はじめに

『川崎市史市制100周年記念版』は、
川崎市を「知って、関わって、好きになってもらう」ことを目指して制作する、
新しいかたちの川崎市史（川崎の歴史の本）です。

- ・親しみやすく、手に取りやすいものとする
- ・川崎市の歴史や文化を知ってもらい次世代につなげる
- ・市民に制作プロセスで関わってもらう

以上を目的として制作し、
市民が積極的に市史づくりに参加できる場として、ワークショップを開催します。

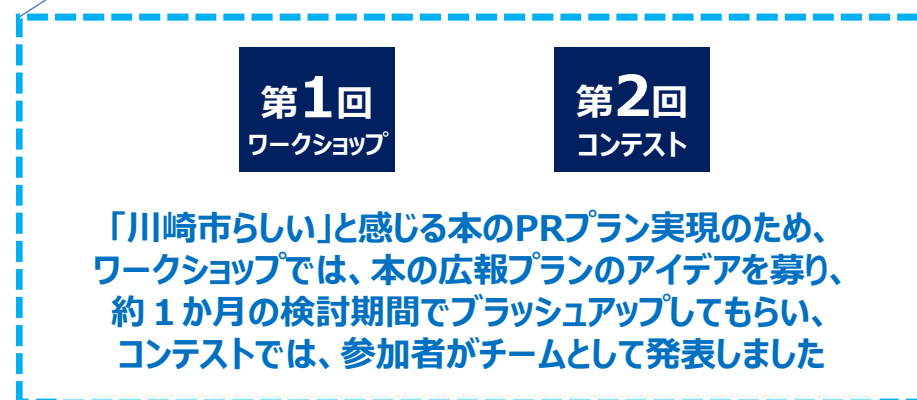
令和8年度は、この本の広報プランのアイデアを募るため、全2回のワークショップを実施しました。

ワークショップの構成



◎ 市内在住・在学等の制限や、年齢制限は設けず、本市の歴史や広報の手法、川崎愛にあふれた方ならどなたでも参加いただけるワークショップとしました

◎ 考えた広報プランが優秀作品に選出されると、実際にこの本の広報施策として本市が実施することや、人の心を動かす伝え方のコツをプロがレクチャーすること等を参加の誘因としてPRしました



参加者募集

エントリー締切:6月1日(月)

みんなで
川崎の歴史の本
をつくるPROJECT

**本の広報プラン
ワークショップ
WS&コンテスト**

川崎市では、市制100周年を記念して、市民の皆さまが川崎の歴史や文化を身近に感じられるよう、親しみやすく、手に取りやすい、新しいかたちの川崎市史を令和9年3月の発行に向け制作しています。
この本をより多くの人に届けるための「本の広報プラン(宣伝方法)」を一緒に考えませんか？

開催スケジュール (全2回・連続イベント)

第1回: 令和8年6月25日(木) 18:30~20:30
ワークショップ「広報のコツを学び、プランを考えよう！」
内容: レクチャー、本の紹介、チームでのアイデア出し

第2回: 令和8年7月31日(金) 18:30~20:30
コンテスト「広報プランを発表しよう！」
内容: プレゼンテーション、審査、結果発表

募集要項 (全8チーム・応募多数の場合は抽選)

「チーム」か「個人」どちらかでご応募ください。
・この取組に興味があり、川崎愛にあふれている方ならどなたでもご参加ください！ 市外在住でもOKです
・個人参加の方は、事務局にてチーム編成します。
・初心者も手厚くサポートします。

詳細・お申し込み方法はこちらから>>>>>

お問い合わせ先: 川崎市総務企画局 コンプライアンス推進・行政情報管理課公文書館
〒211-0051 川崎市中區宮内4丁目1番1号
電話: 044-733-3933 / ファクス: 044-733-2400 / メールアドレス: 17koubun@city.kawasaki.jp

手法は自由!
動画、歌、チラシ、SNS発信など、どんなアイデアも歓迎!

参加費無料

市が実現!
優秀賞に輝いたチームのプランは、実際に川崎市の広報施策として実施されます。

「川崎の歴史の本」をあなたの手で有名に!

7月から学ぶ!
「伝え方のコツ」を学べるレクチャーも同時開催します。



▲配布用チラシ

告知先・方法

- ・市政だより (2026年5月号) に掲載
- ・かわさきイベントアプリに掲載
- ・川崎市公式ホームページのTOP画面での告知
- ・川崎市公式SNS (LINE、X) での告知
- ・報道発表後に、新聞の地域記事に掲載
- ・市内のイベント・講座等でチラシを配布

⇒告知の結果、「チーム」で4組に、「個人」で12名にそれぞれ応募いただき、「個人」12名を4名ずつ3組に編成し、合計7グループで取り組んでもらいました

みんなで「川崎の歴史の本」をつくるプロジェクト
ワークショップ&コンテスト

本の広報プランを作る!

川崎の歴史を知って、関わり、好きになる「川崎の歴史の本」(書籍名: 川崎歴史100年)を9年3月に出版します。市制100周年を記念し、市民の意見を取り入れながら制作してきたこの本を、たくさんの人に読んでもらうための「本の広報プラン(宣伝方法)」を考えます。手法は動画、歌、ポスター、配布物、SNS発信など何でもOK。優秀賞に輝いたプランは市が実現! あなたの思う「川崎らしい」を盛り込んでください。

◎ワークショップ&コンテスト...ワークショップでは、人の心を動かす「伝え方(プロモーション)のコツ」のセミナーとチームごとにアイデア出しを行います。その後、約1か月間をかけてチームごとに自主的に作業を行い、磨き上げた広報プランをコンテストで発表します。独創性や実現可能性を審査します。

◎ワークショップ6月25日(木)、コンテスト7月31日(金)、18時半~20時半、市役所本庁舎。自主的な作業は各チームで日時・場所を決め実施

◎チーム...18歳以上が1人以上いる3~5人。個人...18歳以上。個人の場合は参加者同士でチーム編成を行います。全体で8チーム

◎申込 6月1日までに市HPで公文書館 ☎044-733-3933 まで
044-733-2400 [抽選]。※詳細は5月1日から市HPで。 市HP



▲市政だより掲載記事

みんなで
川崎の歴史の本
をつくるPROJECT

**本の広報プラン
ワークショップ
WS&コンテスト**



▲本市HPバナー

第1回 ワークショップ「広報のコツを学び、プランを考えよう！」

2026年6月25日（木）18:30～20:30 会場：川崎市役所本庁舎2階 ホール（川崎区）

参加者：7グループ 当日参加：22名（6グループ）、後日参加：5名（1グループ）

第1回ワークショップの前半は、TOPPAN(株)の広報プランナーが「人の心を動かす伝え方（プロモーション）のコツ」をレクチャーし、制作中の「川崎歴史100年」の概要を解説した後で、参加者には、本のどの部分を、どこで、誰に、どのようにPRするとよいか、グループごとにアイデアを出し合い、模造紙にまとめてもらいました。

またPRプランの源泉として、令和7年度に市民アンケートで募った広報のアイデアの一覧や、編集懇談会の本を購入したくなる特典にまつわるアイデアを提示しました。

後半は、話し合った内容を「暫定の広報プラン」として1分間で、グループごとにプレゼンテーションしてもらいました。

同じアイデアの源泉から出発していますが、グループメンバーのバックグラウンドや関心事が反映され、さまざまな暫定の広報プランが生まれました。

このあと、約1カ月間をかけて、グループごとに広報プランを更に検討し、磨き上げてもらいました。



企業で広報戦略を練る際に考えるべきポイントについてレクチャーを受けました。



第2回はグループごとに広報プランを発表し審査を受けていただきます。あらかじめ審査基準について説明しました。



アイデアを付せんに書きだして模造紙の上で整理し、グループの意見をまとめていきました。



話し合った「暫定の広報プラン」をグループごとに発表しました。ターゲットも広報ツールも多種多様なプランが出そろいました。

第2回 コンテスト「広報プランを発表しあおう！」

2026年7月31日（金）18:30～20:30 会場：川崎市役所本庁舎2階 ホール（川崎区）

参加者：7グループ 当日参加：21名（6グループ）、動画での参加：4名（1グループ）

第2回は、グループごとに検討された広報プランをプレゼンテーションしてもらい、審査基準に照らし3名の審査員が採点しました。

前半はリハーサルで、後半は発表（本番）です。4分間という短い時間で、磨き上げた広報プランのすべてを分かりやすく伝えることは非常に困難です。

各グループは、投影スライドにイメージ画像を掲載したり、広報で使うアイテムを自作したり、さまざまな工夫を凝らしていました。全7グループの発表を受け、審査員が採点しました。結果として、Aグループのプラン「あの時の記憶と歴史を熱く語るシニアたち。」が優秀作品に輝きました。

最後、参加者の皆さんがそれぞれ健闘をたたえあい、全員で記念写真を撮影しました。



1 グループずつ、プランの概要をまとめたスライドを大型ディスプレイに表示しつつ、白熱したプレゼンテーションを繰り広げていました。



カードゲームを活用するプランを考案したグループは実際にカードを制作されていました。



「川崎愛」あふれるプレゼンテーションに審査員も、参加者も、思わず惹きつけられてしまいました。

各グループの広報プランの概要

グループ名	広報プランのタイトル	広報プランの概要
Aグループ (個人参加者からなるチーム)	「あの時の記憶と歴史を熱く語るシニアたち。」	年配者同士が記憶自慢でバトルする動画を制作するプラン
Bグループ (個人参加者からなるチーム)	「再発見！ 新発見！ ふるさと川崎」	催事会場で市内のお薦めスポットを投稿するとスタンプがもらえるプラン
Cグループ (個人参加者からなるチーム)	「好きです かわさき 歴史の街」 ～フロンターレと共に、かわさき愛は爆発だ！～	サッカーのホームゲーム会場で本を販売。 当たり付しおりで豪華体験が得られるプラン
チームKDM	「100年をめぐる〇〇〇」 川崎市の歴史本×街歩き×トレカ×サイコロゲーム	トレカをきっかけに歴史に興味をもたせる仕掛けを施したプラン
平(ヘイ)！ライブラリアン (平中学校図書委員会)	「中学生が自由に広報したら、本が有名になりました。」	本のQRコードから市のサウンドスケープ体験を提供するプラン
MilKywAy (ミルキーウェイ)	「アナログとデジタル体験で繋ぐ親子三世代のボードクエスト」 川崎100年タイムトラベルすごろく	市域をボードゲームの盤面に見立て、名所でカードを収集し、情報発信を促すプラン
ゆめみシマウマ広報部	「文化を創る、市民参加型・協働型広報プロジェクト」	記念市史をきっかけに市民に対話を促す場や機会を提供するプラン

審査・採点結果

発表順	グループ名	総得点
発表1	Bグループ (個人参加者からなるチーム)	223
発表2	Aグループ (個人参加者からなるチーム)	252
発表3	ゆめみシマウマ広報部	236
発表4	Cグループ (個人参加者からなるチーム)	226
発表5	平(ハイ)！ライブラリアン (平中学校図書委員会)	234
発表6	MilKywAy (ミルキーウェイ)	237
発表7	チームKDM	243

⇒Aグループのプランを、実際の広報施策として今後実施してまいります

記念撮影



第2回コンクールの結果発表後に会場での参加者一同

(参考) 第2回コンテスト 審査基準・審査員

評価項目	審査ポイント	配点	重要度
①【市民ならではの】意外性	<ul style="list-style-type: none"> ● "その手があったか！"と思わせるか？ ● 市民目線のユニークさはあるか？ 	20点	★ ★ ★
②【ワクワク】する魅力	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しそう・参加したいと感じるか？ ● 手元に置きたくなるか？ 	20点	★ ★ ★
③ 誰かに言いたくなる【広がり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 話題性はあるか？ ● 人から人へ自然に広がるか？ 	20点	★ ★ ★
④ 川崎愛と【納得感】	<ul style="list-style-type: none"> ● 100周年にふさわしいか？ ● シビックプライドを感じるか？ 	20点	★ ★ ★
⑤ プレゼンの【熱意】	<ul style="list-style-type: none"> ● 本気度・チームの楽しさが伝わるか？ 	10点	★ ★ ★
⑥【実現性】	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算25万円内で実現可能か？ 	10点	★ ★ ★
審査員（3名）			

川崎市公文書館長
川崎市 シティプロモーション推進室 ブランド戦略担当課長
TOPPAN株式会社 PRプランナー